栄中だより

平成２５年　３月１日発行　第１１号

学校教育目標
★自ら学ぶ生徒
★豊かな心を持つ生徒
★心身を鍛える生徒
～あはは学校・
あいう学校の栄中～

生徒数　１年生　１４１名　２年生　１４４名　３年生　１３６名　計　４２１名

『我慢できない子』を考え、有終の美を飾ろう

校長　　大　橋　　均

平成２４年度が、あと１ヶ月で終了しようとしています。３年生は、３月１５日(金)の卒業式で義務教育９カ年を終了しようとしています。一足先に有終の美を飾ってほしいと思いますが、最後に『我慢できない子』について考えてみましょう。

ある教育心理研究会の冊子の中で、「我慢できない子どもたち」と題して、「我慢」についてのアンケート調査や子どもたちの意見が報告されていました。子どもたちの今を知る上で参考になると思い、載せさせていただきました。

「我慢するのはどんな時」の問いに対し、「ゲームを買ってくれないとき」「親が怒っておるとき」「ほしいものが手に入らないとき」「たいした理由もなく先輩に怒られたとき」等の回答がありました。次に、「家で我慢しなさいとよく言われますか」の問いには、「あんまりない、それより勉強しなさいの方が多い」「何かほしいものがあれば、持っていないのは私だけだなどと、騒げば買ってくれる」との答えでした。

そういえば、自分が子どもの頃より今は「我慢する」ことが格段に少なくなっていると感じています。また、最近、今の子どもたちに接していると、「我慢」しないというより、「我慢できない子が増えている」とも述べています。

「我慢」とは耐え忍ぶこと・じっとこらえることと辞書にありますが、自分の欲求を抑えることも我慢の一つと考えられます。

この自己欲求の抑制は、「理性」に支えられているものですが、欲求を我慢できずに「切れてしまい」、やってはいけないことをしてしまう生徒はいませんか？授業中に「席に正しい姿勢で座っていられない」「話さずにいられない」「落ち着きがない」なども見られます。

この「我慢」がなくなると、傍若無人な振る舞い、ルールやマナーを無視した行動につながってしまいます。卒業式も我慢を植え付ける良い機会です。厳粛な儀式ができてこそ「我慢」が身についたと言えるのです。全員ですばらしい卒業式にしていきましょう。

話は変わりますが、卒業生を送り出す保護者の皆さん、早いですが「ご卒業おめでとうございます」。子どものことでもっとも嬉しかったのは、小学１年生の入学式、感動したのは中学校の卒業式だそうです。この９年間、悩み、苦しみ、泣き、笑い等思い出されること多々あると思います。子どもは大きくなり、自立への道をまた一歩踏み出します。卒業式は出口であり、入り口でもあるのです。今後は、「人間としてしてはならないことは、絶対にするな！」これだけは言い続けていきたいものです。

終わりに、卒業生を最高の状況で送り出したいと教職員一同考えております。また、この１年間は、目指す学校像＝「生活規律を確立し、学力向上に意欲を燃やす生徒」のために、生徒は頑張ってくれました。ありがとうございました。至らぬ点も多々あったかと思いますが、これからも、「教育は共育」の考えの下、生徒理解に努力して参ります。今後ともなお一層のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

受験を前に
未知なる壁に挑む
そう力むことはない
普段どおりのことを
普段どおりにやればいい
肩に力が入ると
せっかく蓄えた力が出せない
みんなの自信は
日々の積み重ねの中から
生まれている、、、。

2月の行事～学校ホームページから

一年で一番短い月でしたが、いろいろな体験をしました！

2／1（金）と15(金)　3年総合　茶道体験　礼儀作法も勉強しました

３年生総合的な学習の時間において、国際理解教育「自国の文化を知ろう」をテーマに茶道体験学習を行いました。講師として、市内在住の佐藤宗京先生はじめ６名の先生方に、裏千家の「お茶の点て方」、「お菓子、お茶のいただき方」から、茶室における「和敬静（清）寂」の心構えなどを学びました。貴重な体験ができました。

2／20（水）と22(金)　3年平和学習　＆　2／20（水）2年総合　福祉校外体験

２日間に分けて、３年生の総合的な学習の時間の一環として、埼玉県平和資料館の加藤将信先生にお出でいただき、出前授業を行っていただきました。当時の人々の衣服の実物や寄せ書きの日の丸、千人針、焼夷弾などの実物などから、当時の人々の生活の様子を学びました。終戦前日の８月１４日に熊谷が空襲されたことも学び、改めて平和の大切さを実感した出前授業でした。

２年生は、今まで総合的な学習の時間で福祉学習をしてきました。校内での車いす体験等の実施。今回は、学習のまとめとして、三郷中央駅やヤオコーやマルエツ等に出向き、車いす体験等行いました。バリアフリーでない場所で大変苦労をしたり、実際の施設での体験等勉強になることばかりでした。

2／20（水）と22（金）　3年生保育実習　　みんな笑顔でお兄さん・お姉さん

３年生は、２クラスずつに別れ、新和幼稚園において保育実習を行いました。園児の皆さんはもちろん、３年生一人一人の笑顔がとても印象的です。

ステキなお兄さん・お姉さんとして子どもたちの心をつかんだようです。

H24年度学校自己・関係者評価の報告

平成24年度　学校自己評価　　三郷市立 栄中学校

評価項	評価項	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	A	A	・生徒の実態を踏まえ、職員一丸となって取り組み、授業規律の徹底から学力向上を目指した。「教育の成果は生徒の変容にあり」を合言葉に、部会と学年を活用して教育実践をすすめた。
		2	学校は、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	A	A	・1学期学校評価の実施とその評価を受けて、2学期の改善策と実践、さらに、2学期学校評価を受けて、3学期または来年度に向けての改善策の検討。その結果30項目中27項目数値の向上が見られた。
	特色ある学校づくり	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	B	A	・全校漢字学習会を精選した形で実施できた。読書・漢字学習を中核に据えた生涯学習の基盤づくりを行い。漢検受験者は100名を超えている。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	B	B	・三部会を中心に取り組んでいる。意志決定の方法を検討し、特色ある学校推進委員会の機能化をしていく必要がある。
	資質向上	5	学校は、教職員の服務規律の確保に努めている。	A	A	・毎月、職員会議後に倫理確立委員会研修会、信頼維持のために、教職員事故防止強化月間、個別指導などをとおして、職員事故0を継続していく。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	A	A	・小中連携による研修、1人1回の指導者を招聘しての研究授業の継続。さらに、仕事に必要な知識や技能を積極的にのばせる研修への参加が必要である。
授業等の状況	学力向上	7	教職員は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に努めている。	A	A	・「数値で示そう生徒変容」を実践し、小中連携も含め「授業規律の徹底から学力向上」を目指した。生徒が進んで家庭学習に取り組むための方策を考える必要がある。
		8	児童生徒は、基礎的・基本的な学力を身につけている。	B	B	・「読み・書き・そろばん」的学力の向上を目指しているが、繰り返し練習してもなかなか身につかない生徒が多い。「授業の工夫」「学力向上策」「家庭学習習慣化プロジェクト」、数多くの「補習」などを継続していく。
	授業規律	9	教職員は、「授業の心得」に基づき授業を進め、教職員の共通理解を図り、指導にあたっている。	A	A	・「教師の授業規律10カ条」の徹底、お互いに授業を参観し合う授業公開週間の設定。小中連携による授業規律の徹底を今後も図っていく。
		10	児童生徒は、落ち着いた雰囲気の中で、学習内容を理解しようとしている。	B	B	・聴く姿勢に問題があり、集中力を切らせてしまう生徒、学習についていけない生徒へのさらなる手立て講じる必要がある。また、授業規律三原則の徹底「チャイム、あいさつ、聴く姿勢」徹底。
	読書のまち・三郷	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	A	A	・図書館司書、図書担当教諭、図書ボランティアの活躍により、メディアセンター活用され、貸出冊数も増えている。授業で使える資料や本をリサーチして置いてあるので授業で活用できる。
		12	児童生徒は、主体的に読書活動に取り組んでいる。	B	B	・大部分の生徒に朝読書の習慣がついている。1年生は、図書ボランティアの方による読み聞かせを行い、小中連携では、中学生のボランティアが小学校で読みきかせを行い読書活動に広がりが出てきた。
	健康・体力	13	教職員は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	B	B	・成長期の子どもが食が細く、体型ばかり気にしている生徒、好き嫌いがある生徒が少なくない。本年度策定された食育教育全体計画の活用すること。給食委員会の活動を充実させたい。
		14	児童生徒は、体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B	B	・会議が多く、放課後、生徒と向き合う時間がないため、部活動は時間的に確保されない状況にある。授業では、集団行動の徹底。数値目標を設定させ、それに向けて取り組ませることで体力向上を図っている。
指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	15	教職員は、自ら手本となる等、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	B	B	・生徒の見本となれるよう「後姿の教育」を心がけ、有言実行を実践している。「ダメなものダメ」を徹底させている。言語環境を整える意味からも、教師の言葉遣いに注意していきたい。
		16	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしている。	B	A	・「あはは」のあいさつは笑顔でしますを実践させています。 まだ不十分であるが笑顔であいさつする生徒が増えてきた。さらに、立ち止まってあいさつできるよう指導していきたい。
		17	児童生徒は、「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いをしている。	B	B	・TPOに合った言葉づかいを身に付けさせるため、授業中、お願いするとき訊ねる時の言葉づかいから始めている。生徒同士の誹謗中傷が聞かれるので、見逃さずに注意していきたい。
	生徒指導	18	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	A	A	・スクールサポーター、相談員を交えた生徒指導委員会を毎週、スクールカウンセラー、相談員を交えた教育相談部会を毎月持ち、現状の把握と対策を話し合っている。
		19	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	A	A	・こまめな電話連絡、家庭訪問、放課後の保護者同伴での指導など生徒のより良い成長を促進ため、連携を密にしている。市の相談室、適応指導教室とも連携を図っている。
		20	児童生徒は、いじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合い学校生活を送っている。	B	B	・いじめ的な行為があることから、いじめ0を目指し、毎月の「心と体の安全点検」を実施し、そこで発覚した事実については素早い対応している。さらなる危機感を持ち、研修などで指導力向上に努める。
	安心・安全	21	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	B	・マニュアルについては職員会議でも繰り返し確認されており、徹底されている。マニュアルどおりにいかない不測の事態も想定し、自己指導力の向上と報・連・相の徹底が必要である。
		22	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	A	A	・心と施設の安全点検を毎月行い、問題は素早く対処している。PTA、育成会、スクールガードの連携による登校指導を実施している。自転車の乗り方問題があり、交通安全指導を2度行った。
	環境整備	23	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に努めている。	B	B	・清掃活動では、清掃内容の確認、仕事分担の明確化、清掃後の点検と反省会の実施を徹底させる必要がある。掲示については行事や生徒作品など、日ごろの活動など速報性を重視している。
		24	学校は、学習環境充実のため、教材・備品を整備している。	B	C	・プロジェクターなど視聴覚機器が整ってきている。備品の管理について、所在の明確化を徹底する必要がある。PCの整備、校内放送設備のメンテナンスも必要である。
家庭地域との連携状況	家庭・地域との連携	25	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	A	A	・行事、日ごろの教育活動、生徒の様子を学校だよりやHPで情報発信している。特にHPは更新回数も多く、学校の様子がよくわかることからアクセス数が多い。学年、学級だよりをさらに充実させたい。
		26	学校は、保護者や地域と連携し不審者対策のパトロール等、計画的に実施している。	A	A	・PTA、育成会、スクールガードによる朝のあいさつ運動、不審者対策パトロール、長期休業日の夜のパトロール、祭礼の見回りなど計画的に連携している。
		27	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	A	A	・教員1人1人が、PTAの資源回収、バザー、除草作業、地域の演奏発表会、大場川クリーン作戦など可能な限り協力している。

特に来年度は…

①②③④

「整然と」「基礎・基本の徹底」「きちんと教えしつかり学ぶ授業と、家庭学習を行う生徒の育成を図る。」

「望まれる生徒の育成を図る。」

「きれいな言語環境」「学校環境」

“三郷市授業の心得”“栄中授業規律三原則”が実行できる生徒の育成を図る。

“環境は人を作る”

“掃除をしっかり行う生徒の育成を図る。

H25年度＝学力・出席率向上が大きな課題です!

学校自己評価がまとまりましたので報告します。これは、栄中職員が行った学校自己評価と、それを基に学校関係者の７名の皆様よりご指導いただいたものです。結果を４点満点で評価し、次の年度の教育活動に生かしていくねらいがあります。また、これ以外にも保護者の皆様からいただいた保護者アンケートにつきましても同様に扱わせていただきます。

3月 ～ 卒業・進級と３月は別れの多い月、思い出を大切に！ ～

日	曜日	学校行事等	日程変更等
1	金	学年末テスト（１・２年）、下校時間１７：３０	
2	土		
3	日		
4	月	埼玉県公立学力検査、読み聞かせ（１年）、学校評議員会、運営委員会、職員会議	
5	火	埼玉県公立実技・面接等、小中連絡会議	金曜時間割
6	水	教育相談部会、学校応援団会議	①②⑤⑥③④
7	木	全校朝会、専門委員会、結ぶ会練習、バイキング給食、サポートチーム成果検討会議	②①③④⑤⑥
8	金	３年球技会	火曜時間割⑤⑥③④①②
9	土		
10	日	校舎内廊下清掃	
11	月	埼玉入学許可候補者発表、保護司連絡協議会、結ぶ会練習、運営委、学年会	
12	火	１年保護者会、卒業式練習、４０周年準備委員会	
13	水	卒業式予行、結ぶ会、３年給食終了	
14	木	卒業式準備	３年短縮
15	金	第３９回卒業証書授与式	
16	土		
17	日		
18	月	運営委、職員会議	
19	火	生徒朝会、２年保護者会、中央委員会、八木郷小連絡会、４０周年準備委員会	
20	水	春分の日	
21	木	安全点検日、給食終了、ＰＴＡ監査	学年時間割
22	金	新和小連絡会	学年時間割
23	土		
24	日		
25	月	学活・集会・掃除、戸ヶ崎小連絡会	
26	火	**修了式**	
27	水	**学年末休業日**	
28	木		
29	金	辞令交付　　運営委	
30	土		
31	日		

４月の連絡です。
４／５（金）　準備登校
８（月）　入学式・始業式
９（火）　身体測定・避難訓練
教科書配布
１０（水）　全校保護者会・給食開始

《そのためには・・・》

授業と家庭の協力で元気な生徒づくり!!　生活規律向上!